

# あはつなしよ

北海道 社会福祉法人 黒松内つくし園

児童養護施設 黒松内つくし園

QCサークルつくしんぼ

発表者 小北 香代

機械操作 瀬尾 康志



# 1-1、施設紹介



人口2,983人の  
フナ北限の里  
黒松内町にあります。

## 命名の由来

踏まれても、折られても、真っ直ぐに伸びる  
土筆(つくし)のように、子ども達がすくすくと  
健やかに成長してくれることをお願い  
「黒松内つくし園」と命名された。



# 1-2、施設紹介



男女各5部屋あり、  
担任制でユニット構造



みんなでくつろげるスペースや  
体育館があります。



# 1-3、施設紹介

## 小規模グループケア



男子棟 あさがお室



女子棟 たんぽぽ室

## 地域小規模児童養護施設ホームすぎな



町内にあり、子ども達6名が家庭的雰囲気の中生活しています。

## 2. つくしんぼサークルの紹介

構成人員	6名	施設のQC活動歴	20年
現メンバーでの活動歴	5ヶ月	構成メンバーの職種	指導員 保育士
平均年齢	26.7歳	本テーマの 会合回数	20回
月当たりの 会合回数	4回		
本テーマの 活動時間	5ヶ月		
主な活動時間	就業時間内外		
会合時間	平均1時間		

# 3、テーマ選定

職員にアンケートを実施しテーマを選定

	重要度	緊急度	効果	容易さ	期間	上司の方針	合計
あいさつについて	◎	◎	◎	○	○	◎	<b>5625</b>
節約について	◎	○	○	◎	○	◎	<b>3375</b>
子どもと楽しい 時間を作ろう	◎	○	◎	△	○	◎	<b>1125</b>
職員のメンタルヘルス について	◎	◎	◎	△	△	○	<b>375</b>

◎・・・5点   ○・・・3点   △・・・1点の掛け算方式

# 4、施設長のコメント

## あいさつは「人間関係」をつくる

そして良好にするうえで一番大切な事です。

「元気な・爽やかなあいさつ」は、それを聞く相手も大変気持ちが悪くありませんし、自分自身も元気な気持ちになります。

特に、初対面の相手には好印象を与え、あいさつ次第でその後の関係が大きく左右されるとも言われています。

あいさつは、年齢が低い時期には自ら元気にする子でも、年齢が高くなるに従って声が小さくない、自らすることが少なくなってくることをさびしく思います。そのため、今回のQC活動を通して、職員自身が見本を示すことによって、子ども達に意識付けし、習慣化されることでもあると思いますので、

「元気な・爽やかなあいさつ」があちらこちらで聞こえて来ることを期待しています。



岡久施設長

# 5、活動計画

計画 ……→ 実施 →

	4月	5月	6月	7月	8月	担当
テーマ選定	→					西川
活動計画		→				本間
現状把握		→	→			瀬尾 小北
要因解析		→	→			石田
対策の立案 目標設定			→	→		鈴木
対策の実施			→	→		瀬尾
効果の確認			→	→		瀬尾
歯止め・標準化 反省・まとめ 今後の課題				→	→	全員

# 6、現状把握方法の検討

調査方法			
1	どのあいさつをいつ調べる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いチェックをしている</li> <li>・勤務者が多い</li> </ul>	帰園時のあいさつを調べる
	2	どの様に調べる？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者を決める</li> </ul>





# 7. 現状把握

(1) 調査期間：6/6～10

(2) 調査対象：n = 6人 (小学生・中学生・高校生 各2名)

(3) 調査判定：

帰園時あいさつをした	○
帰園時にあいさつをしなかった	×

## (4) 調査結果

	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10
A、小学生	○	○	○	○	×
B、小学生	○	×	○	○	○
C、中学生	○	○	○	○	○
D、中学生	○	×	○	×	○
E、高校生	○	○	○	○	○
F、高校生	○	×	○	○	○

## 8、調査方法の問題点

● 全体からわからない

QC経験者の上司に  
アドバイスを  
いただきました。

● 初歩の概念

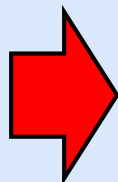


# 9、あいさつ調査判定基準の見直し

## ◎あいさつを細かく分類！

### 2段階判定基準

帰園時 あいさつをした	○
帰園時にあいさ つをしなかった	×



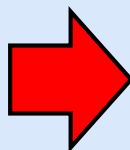
### 4段階 判定基準

帰園時に自分から あいさつをする	◎…3点
職員に声をかけられ あいさつをする	○…2点
職員の声かけに反応する (うん、頭を下げるなど)	△…1点
あいさつをしない 職員の声かけを無視する	×…0点

## ◎調査対象を広げよう！

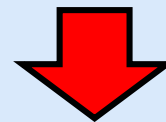
### 調査時の問題

対象者が少ない…



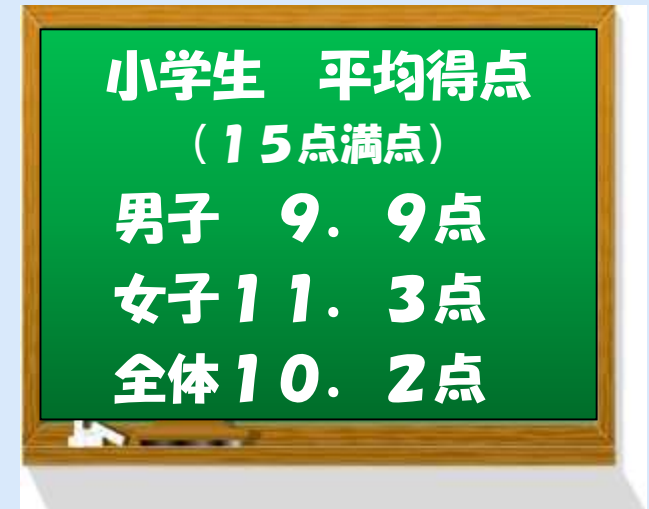
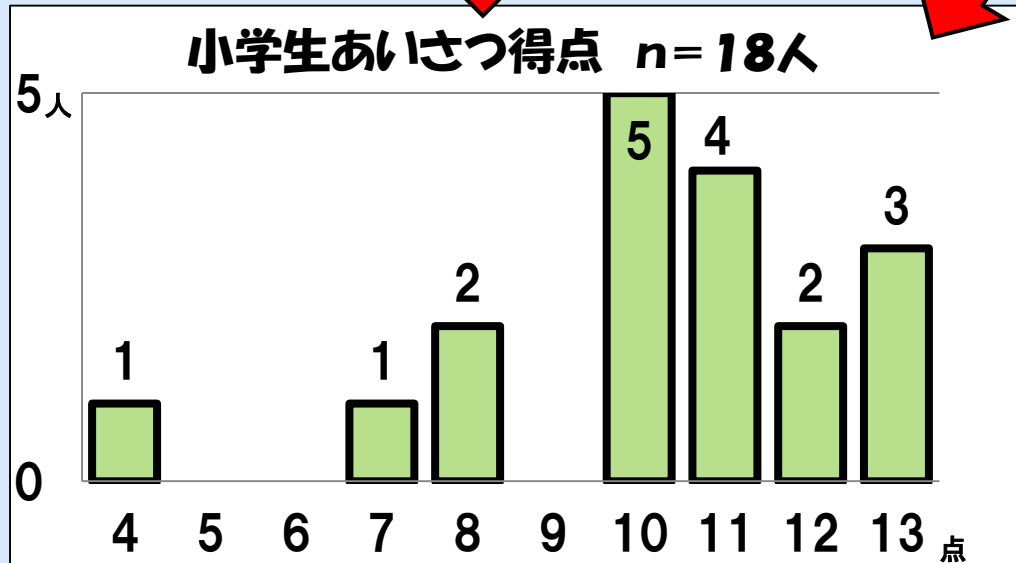
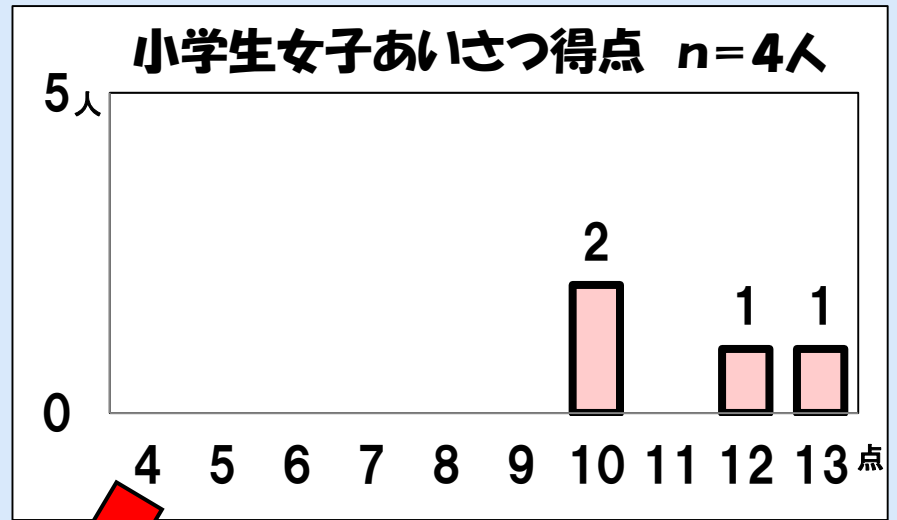
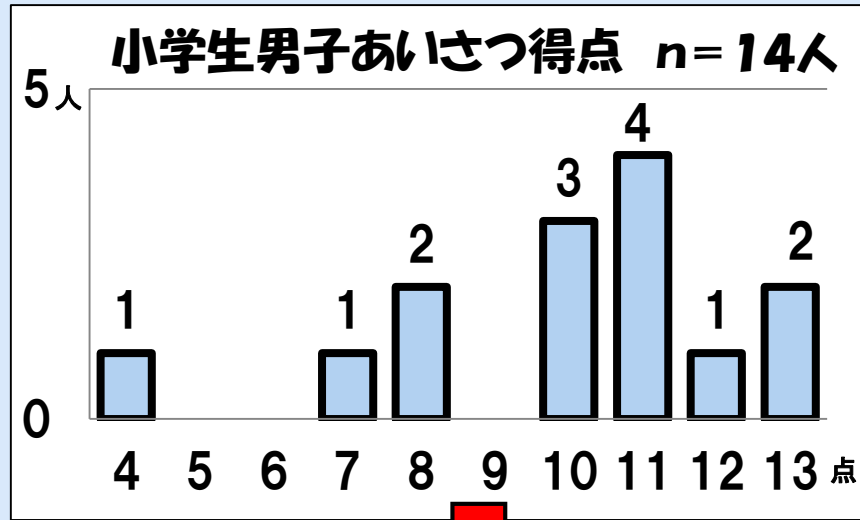
### 対策

対象の子どもを増やそう！



通学児童64名を対象にして 6/20~24の5日間 **再調査！**

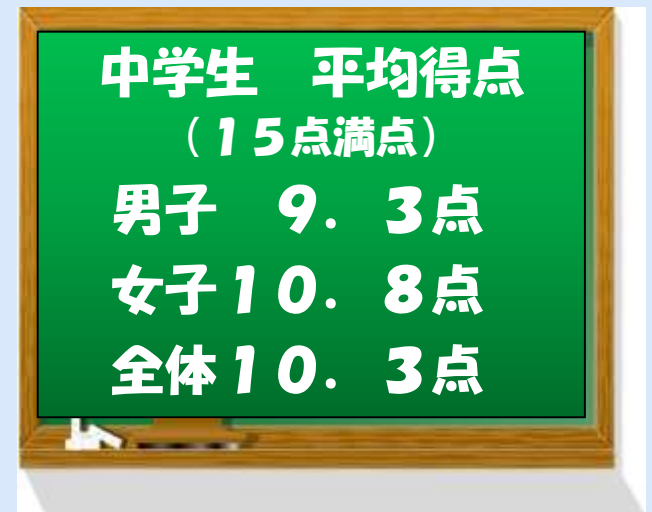
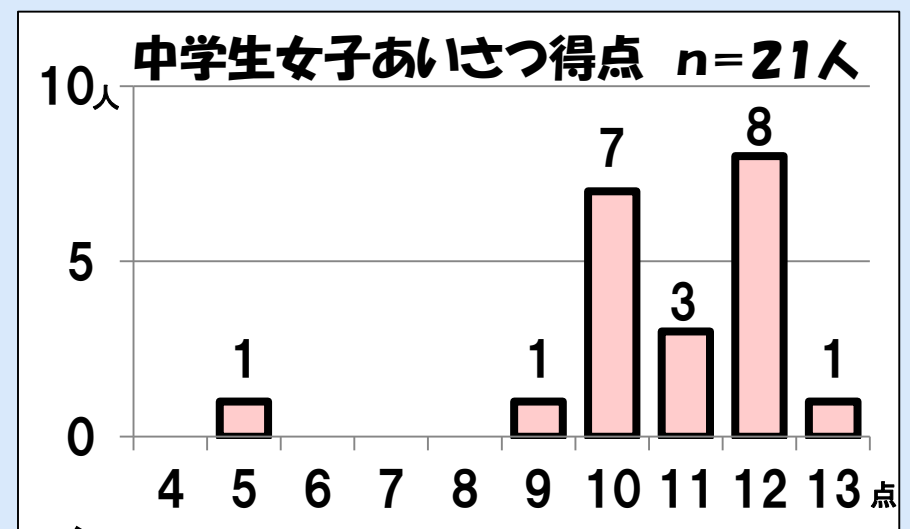
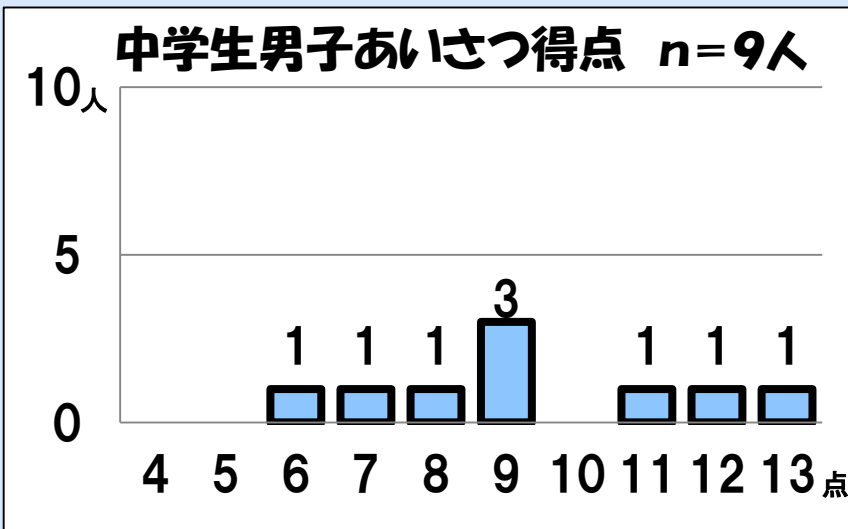
# 10-1.現状把握 小学生集計結果 6/20~24



# 10-2, 現状把握

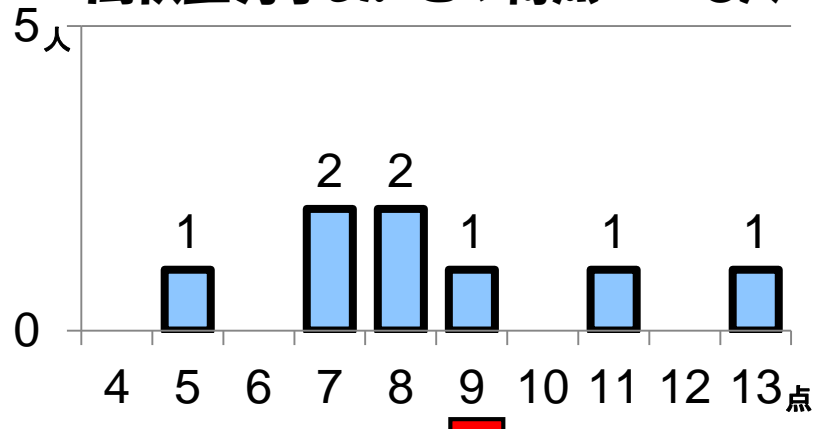
## 中学生集計結果

6/20~24

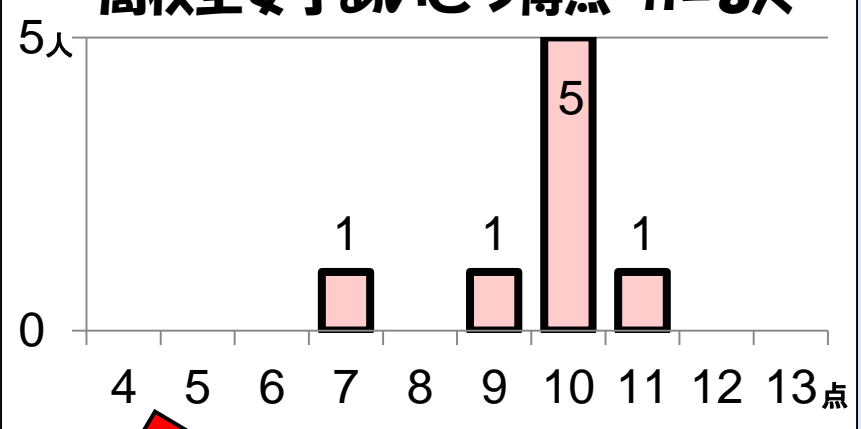


# 10-3. 現状把握 高校生集計結果 6/20~24

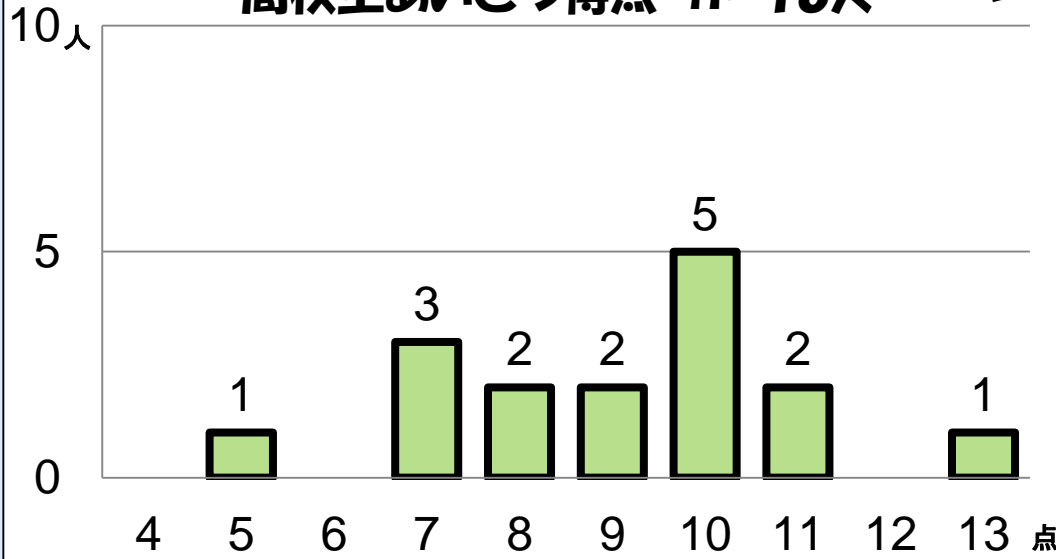
高校生男子あいさつ得点 n=8人



高校生女子あいさつ得点 n=8人



高校生あいさつ得点 n=16人



高校生平均得点  
(15点満点)

男子 8.5点

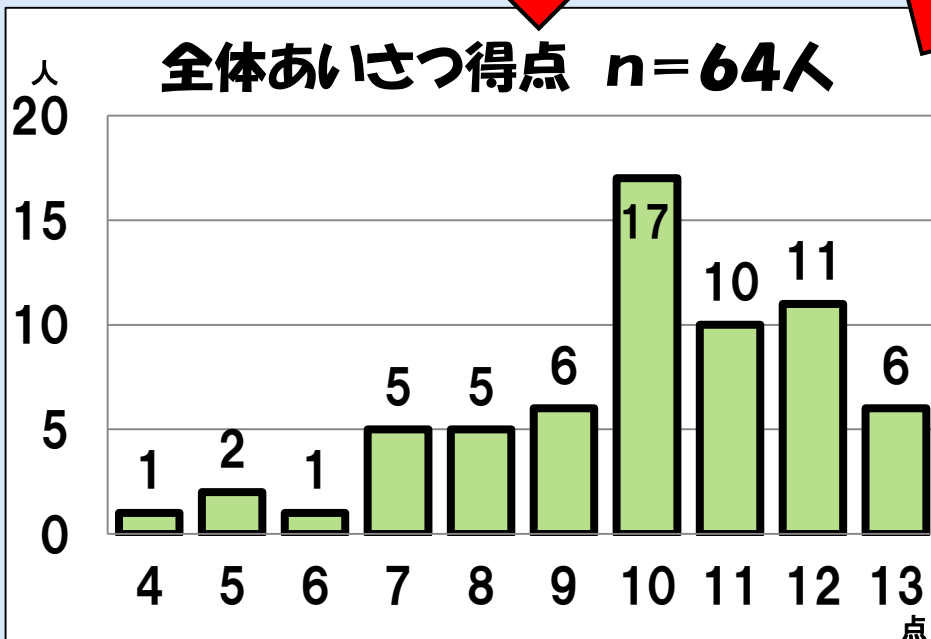
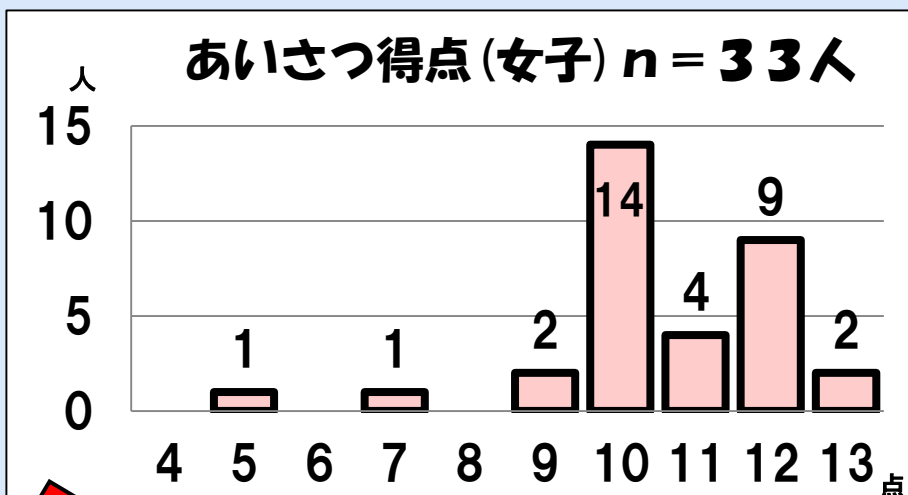
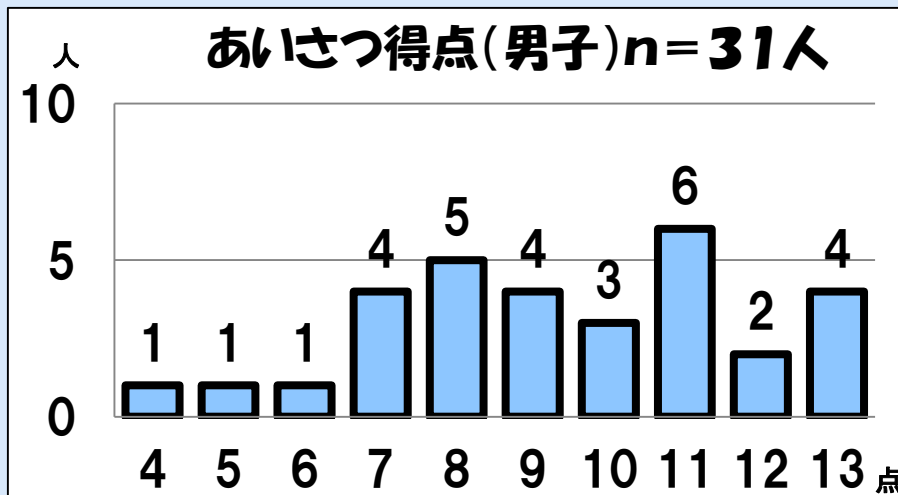
女子 9.6点

全体 9.1点

# 10-4, 現状把握

## 全体集計結果

6/20~24

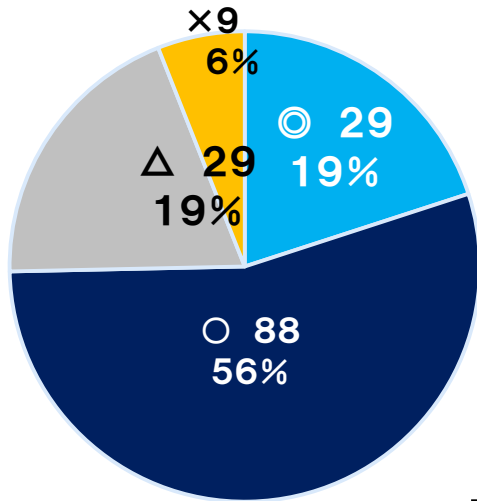


	小学生	中学生	高校生	全体
男子	9.9点	9.3点	8.5点	9.4点
女子	11.3点	10.8点	9.6点	10.5点
全体	10.2点	10.3点	9.1点	10.0点

# 10-5、現状把握

あいさつ内訳 6/20~24

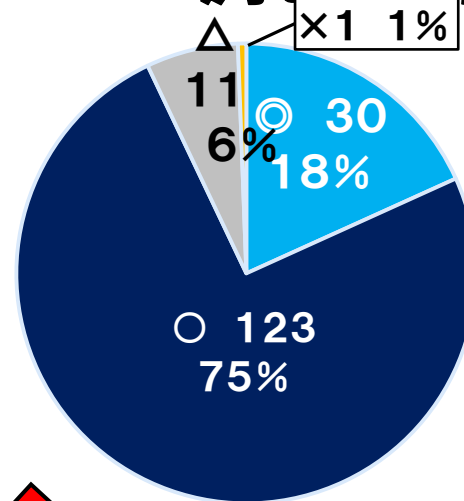
男子あいさつ内訳表



n=155  
31人×5日間

◎と○の  
合計75%

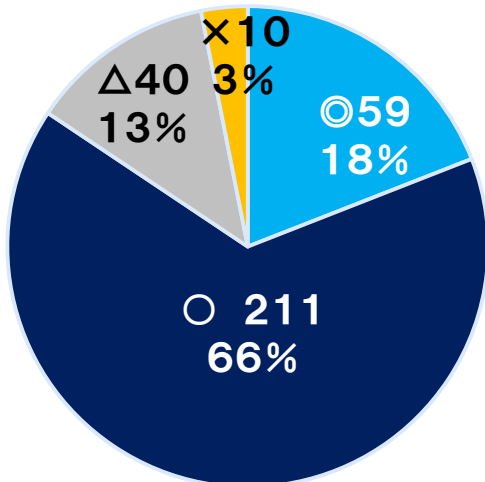
女子あいさつ内訳表



n=165  
33人×5日間

◎と○の  
合計93%

全体あいさつ内訳表



n=320  
64人×5日間

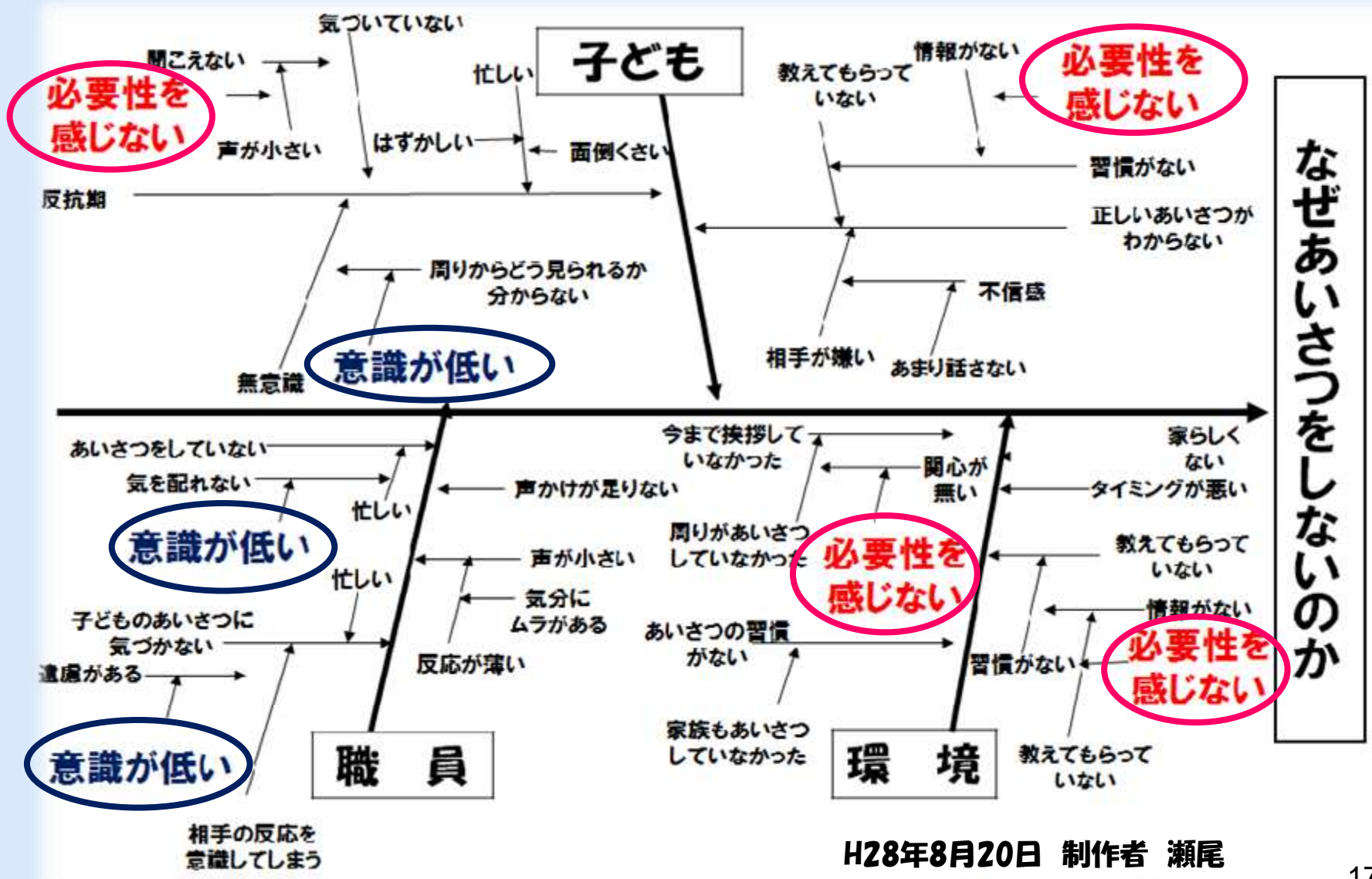
◎と○の  
合計84%

## 4段階判定基準

帰園時に自分から あいさつをする	◎…3点
職員に声をかけられ あいさつをする	○…2点
職員の声かけに反応する (うん、頭を下げるなど)	△…1点
あいさつをしない 職員の声かけを無視する	×…0点

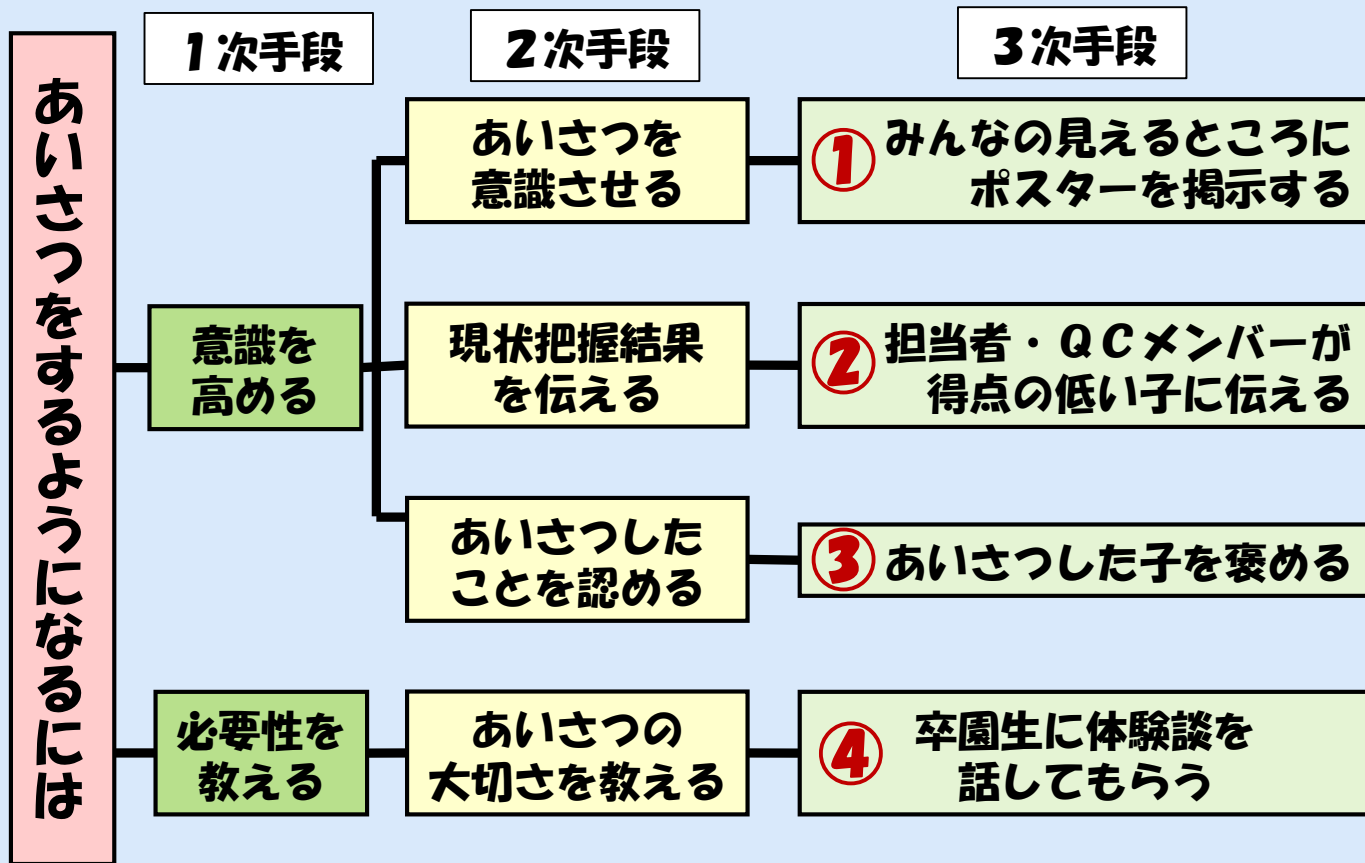


# 11、要因解析



H28年8月20日 制作者 瀬尾

# 12、対策の立案



効果	実現性	合計	採否
△	○	10点	採用
○	○	25点	採用
○	○	25点	採用
○	○	25点	採用

評価基準：×1点 △2点 ○5点 掛け算方式

# 13、目標設定

子ども達が①気づき・②わかり・③やる気になり  
④実感できる活動を展開

(1) メイン目標  
全体のあいさつ

15%向上

平均点 10.0点



11.5点

(2) サブ目標

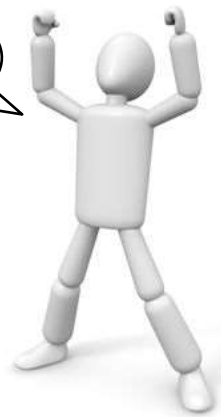
①男子・女子・小・中・高校生

それぞれ 15%向上

②◎と○の合計 84% → 90%以上

※◎…自分からあいさつ、○…声かけられあいさつ

やるぞ!!



# 14-1、対策の実施

## 5W1Hにて、対策の実施

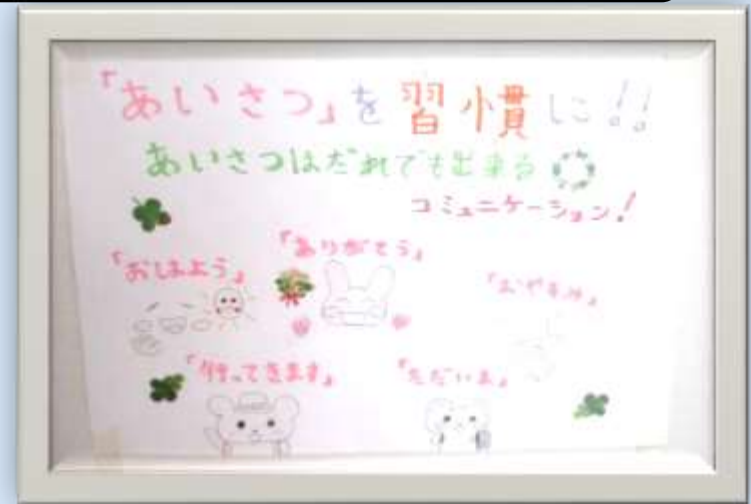
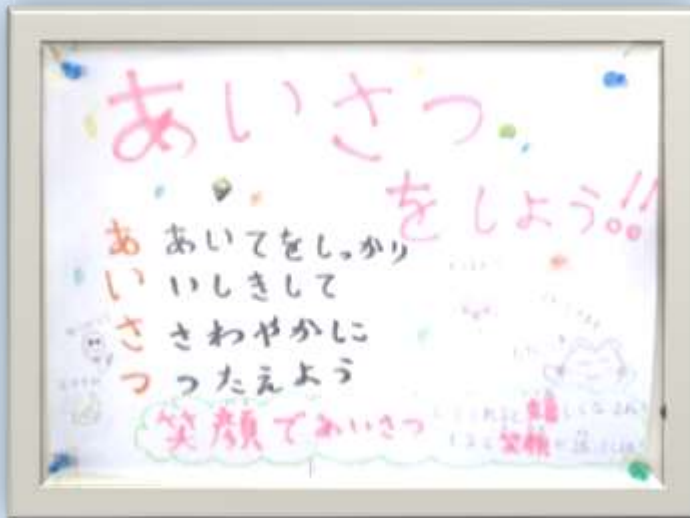
活動名	対策案	いつ	どこで (に)	誰が	何を	どうする
気づき	①ポスターを掲示	2016年 6月27日	掲示版に	QCメンバーが	ポスターを	掲示する
わかる	②子どもに現状を伝える	2016年 6月29日 ~7月2日	各部屋で	QCメンバーや 子ども担当者が	現状を伝え、 きちんと あいさつするよう	子ども達に 伝える
にやなる気	③あいさつした子を褒める	2016年 6月28日 ~7月3日	つくし園で	職員が	あいさつした子を	褒める
で実感できる	④卒園生に経験談を話してもらう	2016年 7月2日	男子棟で	卒園生が	あいさつの 大切さを	子ども達に 伝える

# 14-2、対策①掲示板にポスターを掲示する

## 気づき活動…あいさつの大切さに気付かせる

対策案	いつ	どこで (に)	誰が	何を	どうする
①ポスター を掲示	2016年 6月27日	掲示板に	QCメンバーが	ポスターを	掲示する

QCメンバーが描いた  
ポスターを6/27に掲示



# 14-3、対策②子ども達に伝える

## わかる活動…現状や相手の気持ちを考える

対策案	いつ	どこで (に)	誰が	何を	どうする
②子どもに 現状を伝える	2016年 6月29日 ~7月2日	各部屋で	QCメンバーや 子ども担当者が	現状を伝え、 きちんと あいさつするよう	子ども達に 伝える

あいさつ  
されたら  
どんな  
気持ち？

自分から  
あいさつしよう！



**6 / 29 ~ 7 / 2**  
担当職員が  
子ども達に  
あいさつの  
現状と大切さを  
わかるように伝える

# 14-4、対策③あいさつをした子を褒める

やる気になる活動…あいさつを気持ちよくできる

対策案	いつ	どこで(に)	誰が	何を	どうする
③あいさつ した子を 褒める	2016年 6月28日 ~7月3日	つくし園で	職員が	あいさつ した子を	褒める

大きい声で  
あいさつ  
できたね!!

いいあいさつだね!!

ただいま!!

「あいさつをした子  
を褒めよう！」  
運動を全職員実施し  
できた子を褒める。

# 14-5、 対策④卒園生が子ども達に伝える

## 実感できる活動…卒園生が体験談を話す

対策案	いつ	どこで (に)	誰が	何を	どうする
④卒園生に 経験談を 話してもらおう	2016年 7月2日	男子棟で	卒園生が	あいさつの 大切さを	子ども達に 伝える

社会に出てもあいさつは  
大切です。今からきちんと  
できるようにしましょう



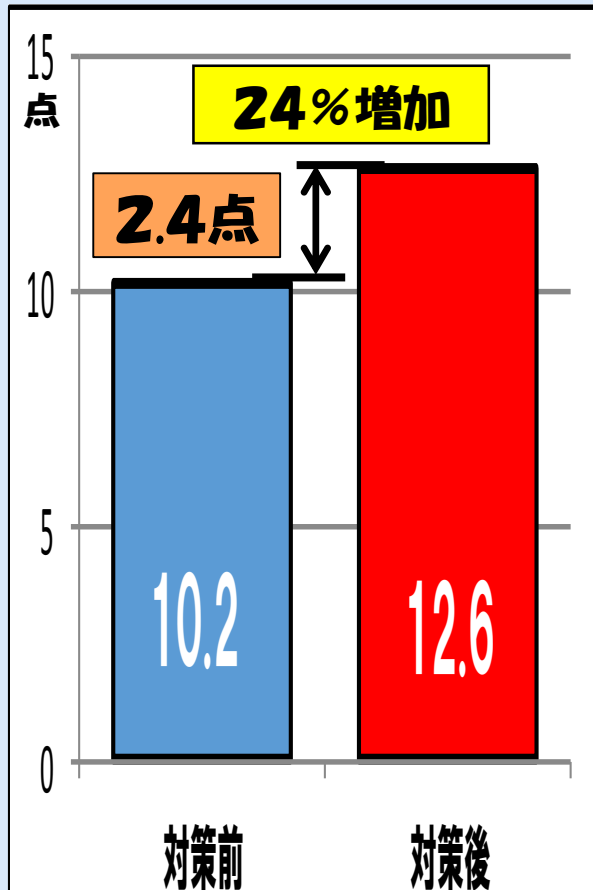
7/2  
卒園生が  
あいさつの大切さを  
話してもらおう。

※個人情報関係上、  
一部写真加工しています

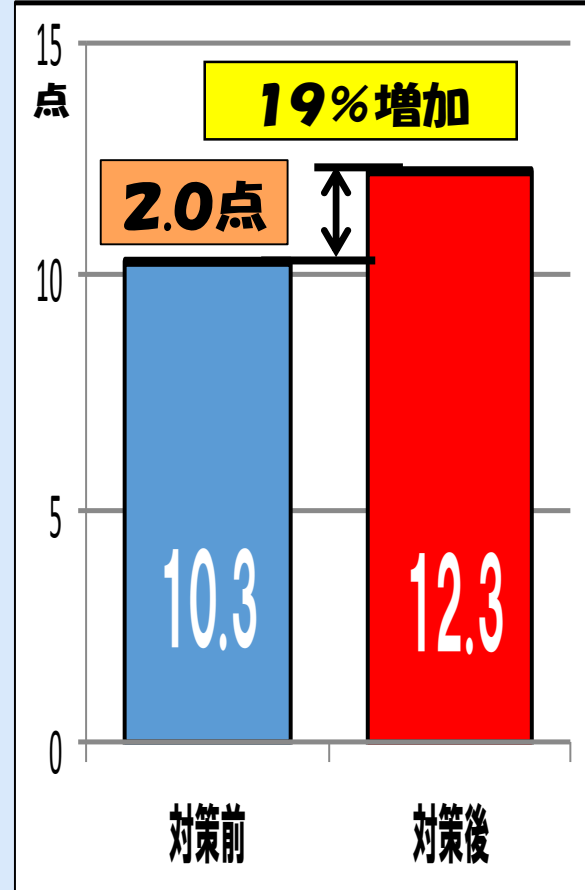


# 15-1、効果の確認

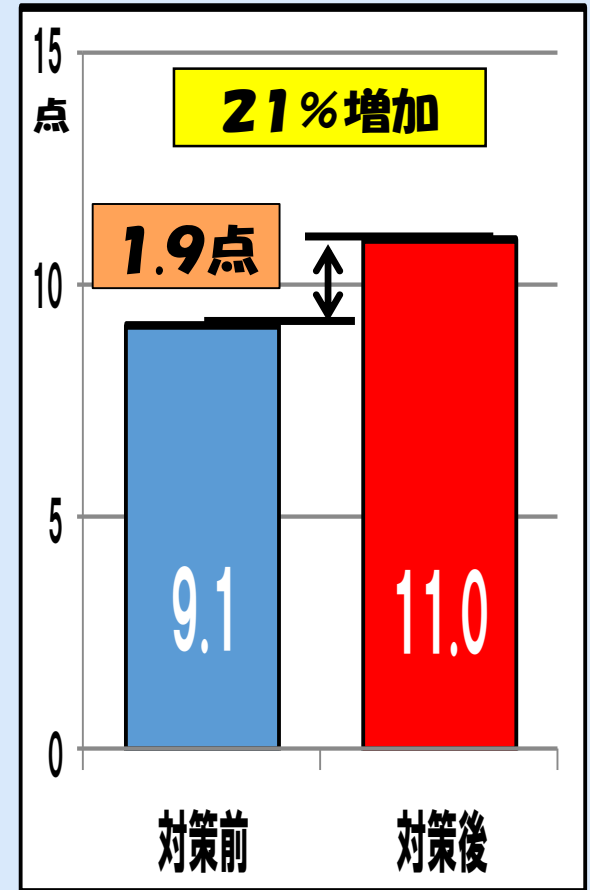
## 対策前後のあいさつ平均得点の変化 (15点満点)



小学生 n=18人



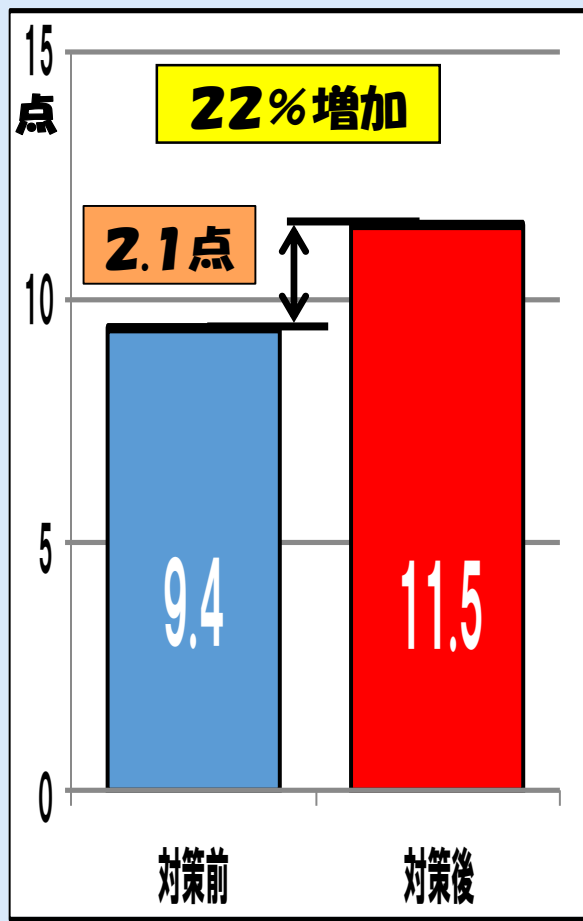
中学生 n=30人



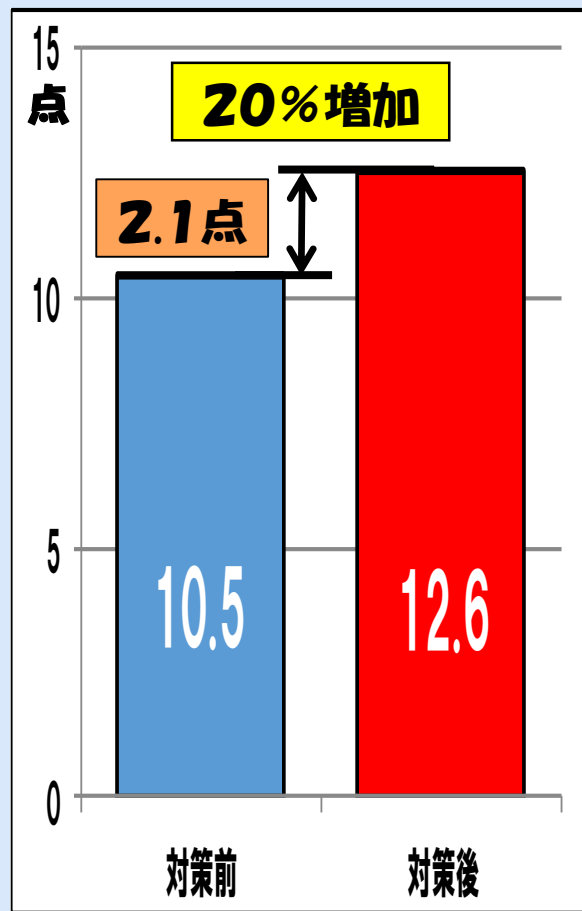
高校生 n=16人

# 15-2、効果の確認

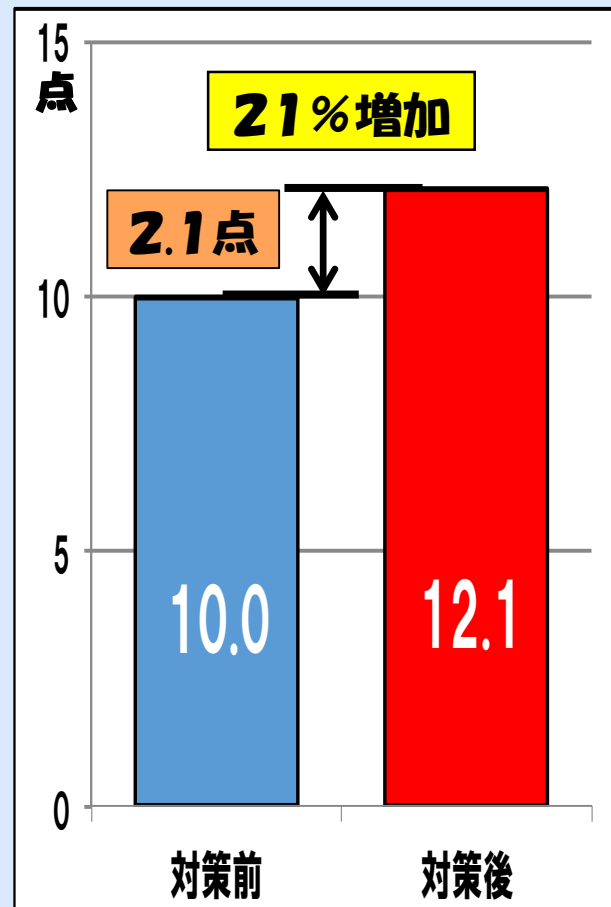
## 対策前後のあいさつ平均得点の変化 (15点満点)



男子 n=31人



女子 n=33人



全体 n=64人

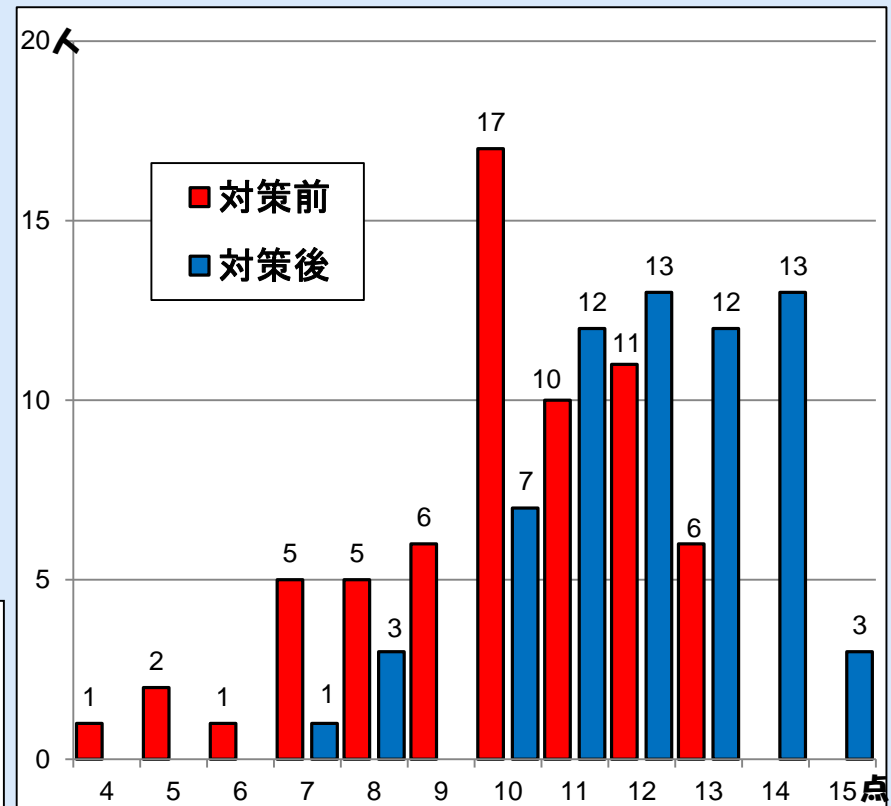
# 16-1、総合結果

あいさつ集計結果 7/4~8 n=64人

対策前後の平均点(15点満点)

	対策前	対策後	向上率
小学生	10.2点	12.6点	24%
中学生	10.3点	12.3点	19%
高校生	9.1点	11.0点	21%
男子	9.4点	11.5点	22%
女子	10.5点	12.6点	20%
全体	10.0点	12.1点	21%

対策前後のあいさつ得点  
(15点満点)



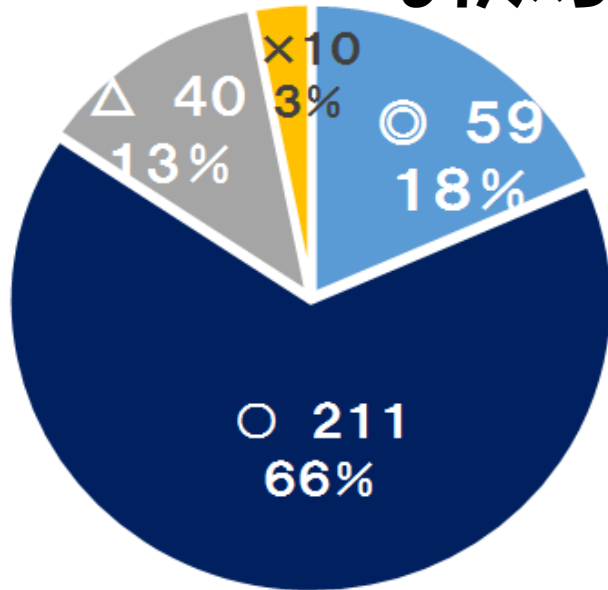
すべての項目で  
15%以上の向上し  
目標を達成しました

# 16-2、総合結果

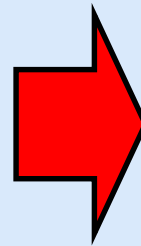
## 対策前後のあいさつの内訳

対策前

n=320  
64人×5日間

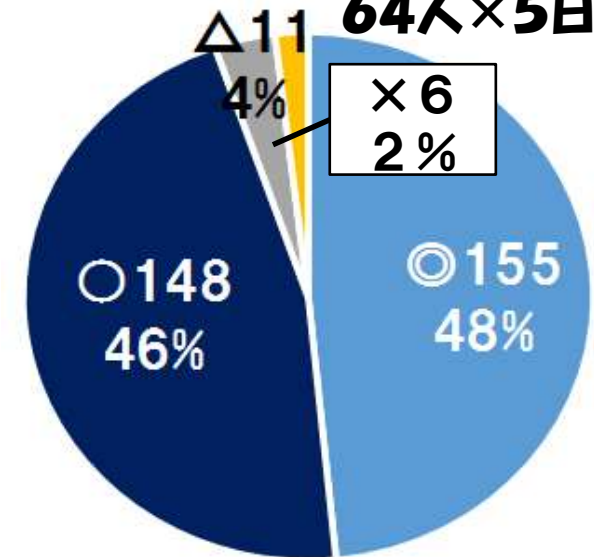


◎18% + ○66%  
合計 84%



対策後

n=320  
64人×5日間



◎48% + ○46%  
合計 94%

◎は  
約2.6倍  
に増加

# 17.波及効果

## 有形効果

- ・今までよりあいさつが多く聞こえるようになった。
- ・あいさつポスターが増えた。
- ・子ども同士であいさつするようになった。



## 無形効果

- ・あいさつすることで気分が良くなった。
- ・子どもだけでなく職員もあいさつ意識が高まった。
- ・つくし園の雰囲気は明るくなった。
- ・人間関係が良くなった。
- ・相手に好印象を与えられた。

# 18、総合結果の確認

活動前の岡久施設長コメントを実感

「元気な・爽やかなあいさつ」

「人間関係」を良くできた

「気分」が良くなった・「元気」な気持ちになった  
初対面の相手に「好印象」を与える事ができた  
あいさつの大切さを子ども達に意識付けし、  
「習慣化」させることができた



目標達成

# 19、歯止め・標準化

項目	いつ	どこで	誰が	何を	どうする
職員が率先してあいさつする	会議中	つくし園で	QCメンバーが	あいさつを率先して行うよう	呼びかける
あいさつを話題に出す	月に一度	つくし園で	担当職員が	あいさつを	話題にする
あいさつ意識を継続させる	集会中	つくし園で	QCメンバーが	あいさつの大切さを	子ども達に話をする

# 20、反省・まとめ

ステップ	良かった点	悪かった点
1. テーマ選定	全職員に意見を聞く事ができた	取り組みが遅かった
2. 現状把握	先輩にいいアドバイスをいただいた	数値化がうまくいかず時間がかかった
3. 目標設定	無理のない値が設定できた	
4. 要因解析	QCメンバー内で議論が白熱した	最初はなかなか意見が出なかった
5. 対策立案・実施	全職員、卒園生の協力が得られた	対象者全員に話をする事ができなかった
6. 効果の確認	目標値を達成した	あいさつをしない子をゼロにできなかった
7. 歯止め・標準化	改めてこの仕事の意味を 考えることができた	

# 21、今後の課題

## あいさつとは

『あい』・・・心を開き

『さつ』・・・相手に近づくこと

更に

- ◎子ども達に寄り添い、絆を深め自立のサポートをする。
- ◎将来、私たちの言葉を思い出してもらえるよう  
繰り返しあいさつの大切さを伝えていく。
- ◎職員がお手本となるよう率先してあいさつを行う。